

- ❗ 避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- ❗ 危険な場所から警戒レベル3で(高齢者等は避難)、警戒レベル4で(全員避難※I)です。

※I 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者などに限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです

警戒レベル	新たな避難情報等
5	 <p>災害発生又は切迫</p> <p>緊急安全確保※I</p>
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~	
4	 <p>災害のおそれ高い</p> <p>避難指示</p>
3	 <p>災害のおそれあり</p> <p>高齢者等避難※II</p>
2	 <p>気象状況悪化</p> <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>今後気象状況悪化のおそれ</p> <p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※I 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません

※II 警戒レベル3は、高齢者など以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
**警戒レベル3高齢者等避難**で  
危険な場所から避難  
しましょう。

**警戒レベル4避難指示**で  
危険な場所から**全員避難**  
しましょう。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保**の  
発令を待つてはいけません!



現在から未来へ 全ての人の安全・安心のために!

消防団員の、地域に密着し市民の安全・安心を守る活動に心から感謝いたします。市では令和元年の天津市の園児らが死傷する交通事故を受けて以来、関係各所と毎年実施している通学路の合同点検を強化しています。予算を増額して点検で確認された危険個所の整備を行うとともに、子どもたちへの安全指導を徹底し、地域へ危険箇所を周知するなど、ハード面でもソフト面でも子どもたちの安全・安心確保に努めています。子どもたちの笑顔を見ると、安全・安心の中で元気に過ごし、未来に大きく羽ばたいてもらいたいという思いが強くなります。現在から未来へ、全ての人が安全・安心に笑顔で暮らせるまちづくりのため、これからも全力で取り組みます!

### 避難情報を改めて確認しましょう

警戒レベル4までに必ず避難  
警戒レベル5は既に災害が発生・切迫して命の危険がある状態です。また、必ず発令される情報ではないことから、警戒レベル5を待つことなく、警戒レベル4までに必ず避難することが必要です。

### 自助・共助の心構えを

#### 自主防災組織とは

住民の相互協力の理念に基づいて、自主的な防災活動を行うことで、災害による被害の防止や軽減を目的とする組織です。市内では83団体が結成されています。

#### 土砂災害に備えた自主避難計画

土砂災害が想定される地域では、地域住民が主体となり、土砂災害の危険箇所などをまとめた避難計画を策定して災害に備えています。  
令和2年度は上日野地区、3年度には金井・下日野地区の自主避難計画を策定し、今年度は鬼石地区の策定を予定しています。



▲ 令和3年度に作成した金井・下日野地区の自主避難計画



土砂災害から身を守るために



藤岡市  
ハザードマップ



▲ 自主避難計画策定の様子

### 地域と連携した防災対策

#### 避難場所運営訓練

災害が発生したときや、台風の接近や長時間の降雨で、洪水や土砂災害などが発生するおそれがあるときなど、市は避難所を開設します。避難所を円滑に運営するため、市職員と自主防災組織が連携し、その運営に当たります。  
昨年度は、小野地区自主防災組織26人、藤岡市区長会6人、市職員など59人の合計91人で訓練を行い、避難場所の開設手順や、避難者の受け入れ方法などを確認しました。  
今年度は7月21日(木)に神流小学校体育館および校舎で訓練を行う予定です。



▲▶ 自主防災組織との連携を確認するための避難場所運営訓練の様子



避難所一覧

